

Vol.107 PUSH!

図書館司書が選んだ
中高生向けのおすすめ本



ほんとうにあったクリスマスの奇跡

13番目の贈りもの

ジョアン・フィスト・スミス／著

川田志津／訳

東洋出版(936 ページ)

夫を亡くし、つらい日々を過ごすジョアンと3人の子どもたちの元に、突然届いた1鉢のポインセチア。それから毎日、送り主不明のプレゼントが届き始めます。大黒柱を失い、ばらばらになりかけていた家族に訪れる奇跡とは――？



くるみ割り人形

E. T. A. ホフマン／原作

リスバート・ツヴェルガー／絵

ズザンネ・コッペ／文 池田香代子／訳

B L 出版 (E ヴァル)

マリーがクリスマスにもらったのは、大きな歯のくるみ割り人形。

その夜、恐ろしいねずみの王様が攻めてきて…。

★★★★★★★★★★★★★★★★

クリスマスの定番のファンタジーを、繊細で美しい絵とともに味わってみませんか？



忘れない。



贈りものをめぐる十の話

市川拓司ほか／著 ダ・ヴィンチ編集部／編集
メディアファクトリー (PF 751)

気鋭の作家たちによる、さまざまな「忘れられない」が描かれた短編集です。心が温かくなる贈りものはもちろん、切なくなる贈りものも…。登場人物の年代も幅広く、少し大人っぽい話を読んでみたい人にもおすすめです。

ギフト

西のはての年代記 1 (全3巻)

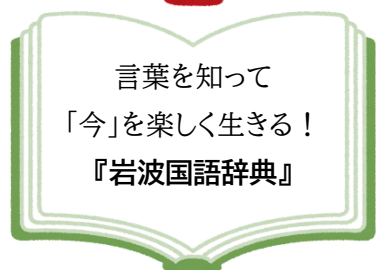
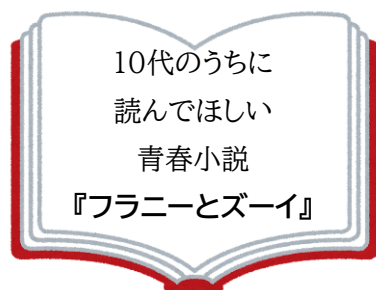
ル＝グウィン／著 谷垣暁美／訳
河出書房新社 (Y 93 ルグイ)

西のはての高地に住む人々は「ギフト」という特別な力を持っている。カスプロ家の跡継ぎであるオレックは、力を制御できないため、発動に必要な目を封じられていた。

自分の力や父との関係に苦悩する少年が、生き方を決めるまでの物語。

きみに贈る本

中村文則ほか／著
中央公論新社 (019 キミ)



小説、古典や図鑑、辞典など、いろいろなジャンルの本を6人の作家が紹介。自身の体験や考えを交えながら、あなたへ本をおすすめします！

ふくもっちゃんのつぶやき ～冬の贈りもの、どうする？編～

こんにちは、ふくもっちゃんでございます。
クリスマスやバレンタイン…冬は贈りものの季節ですね。でも「おしゃれなラッピングをしたいけどやり方が分からない！」「メッセージカードを手作りしたいけど、どうしたらいいの？」など、悩んでいる人もいます。

そんな時にはぜひ図書館へ！
すてきな贈りもののヒントになる本が揃っていますよ。



令和3年 12月
編集発行 福島市立図書館 YA部会
TEL 024-531-6551

ミシェルズ・バーカリーのチーズケーキ。
ケーキに合うワイン。フライドポテトも。
それから音楽――



カーネーション・デイ

ジョン・デヴィッド・アンダーソン／著
久保陽子／訳 ほるぷ出版
(Y 93 アンダ)



ビクスビー先生が病気で学校に来られなくなった。トファー、ステイブ、ブランドンの3人は、大好きな先生に「最高の1日」をプレゼントしようと計画し、学校を抜け出すが…。